

科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」 基盤的研究・人材育成拠点整備事業の概要

資料2-2
科学技術イノベーション政策
のための科学推進委員会
(第9回) H24.03.26
第8回(24年2月6日)資料2-2

基本的考え方

- 科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」を担う人材を育成するための拠点を形成。
 - ① 客観的根拠(エビデンス)に基づく**政策形成を担う政策担当者**
 - ② 「科学技術イノベーション政策の科学」という**新たな研究領域の発展の担い手となる研究者** 等
- 大学、研究機関、行政機関等の人的資源を結集し、人文社会科学や自然科学の枠を超えた**大学院レベルの学際的なコースワークやカリキュラムを設定**。
- 拠点における関連する学部、学科間の連携に加えて、大学間等で**幅広いネットワークを形成**。

推進体制

- 文部科学省、科学技術政策研究所、科学技術振興機構(JST)等の関係機関と密接に連携しつつ、以下の拠点を形成。
 - ① 科学技術イノベーション政策を専門とする人材の育成を目的とする「**総合拠点**」(1拠点)
「政策研究大学院大学」
 - ② 特定の専門分野を活かしつつ、既存のプログラムとは独立した形で、政策のための科学に関する人材の育成を目的とする「**領域開拓拠点**」(4拠点)
「東京大学」 **「一橋大学」** **「大阪大学(京都大学)」** **「九州大学」**
- 拠点間連携は、**総合拠点が主導**(シンポジウムやサマーキャンプ等の実施を想定)。
- 持続性のある拠点形成を目指し、**平成23年度より長期(15年)にわたり支援を実施**。事業終了後も、引き続き、各大学が拠点活動を維持していくこと(学科の創設など)が条件。

科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」 事業全体に共通する目指すべき姿

※ 第8回科学技術イノベーション政策のための科学推進委員会(平成24年2月6日開催)資料より引用

科学技術イノベーションの推進に際し、その政策立案、実施、評価の科学的基盤を構築し、社会が直面している課題の解決を民主的、かつ効果的に行う仕組みを実現すること

- 経済・社会を取り巻く経済・社会を取り巻く状況や構造が大きく変化しており、これに適切に対応するために科学技術イノベーションへの期待が高まっていることを踏まえ、現実社会における観察を通じて、**社会が直面している問題を抽出**するとともに、**必要な客観的根拠(データや情報などのエビデンス)の多面的な把握**に努めること。
- 上記により抽出された問題に対して、**科学が解決すべき課題**であるのか、**技術が解決すべき課題**であるのか、あるいは**社会システムのイノベーションによって解決すべき課題であるのか**を同定すること。
- **エビデンスを構造化・体系化**するとともに、同定された課題を解決する処方箋として、**評価を付加した上で選択可能でかつ分かりやすい形で「科学技術イノベーション政策」オプションを提示**すること。
- 「科学技術イノベーション政策」の実施や社会実装にあたっては、**研究者や政策決定者はもとより、国民やメディアを含めたステークホルダーの合意形成を進めるとともに、科学者、技術者、政策決定者等の行動倫理や規範を確立**すること。
- 事業の推進を通じて得られた成果については、**社会の共有財産として蓄積**するとともに、**国民が政策形成へ参加するための基盤として十分に活用されるよう、積極的な情報提供**に努めること。
- 「政策のための科学」は、広範な学問領域にまたがり、かつそれが複雑に絡み合っているため、**多様な学問領域間のコミュニケーションを通じて課題を共有化し、協働して課題解決に取り組む**とともに、併せて、「政策のための科学」のコミュニティ形成の構築にも努めること。
- 「政策のための科学」の深化と、**客観的根拠に基づく政策形成の実現に向けた政策形成プロセスの進化**が重要であり、これらを**車の両輪として推進**すること。

科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」 基盤的研究・人材育成拠点に求められる役割

※ 第8回科学技術イノベーション政策のための科学推進委員会(平成24年2月6日開催)資料より引用

基盤的研究・人材育成拠点を構成する各大学は、①「政策のための科学」の深化、②「政策のための科学」により産出される成果の共有、③「政策のための科学」のコミュニティ形成、④拠点における独立した人材育成プログラムの実施、を一体的に進めることが必要。

総合拠点に求められる役割

基盤的研究・人材育成拠点整備事業全体を主導する役割を担うとともに、領域開拓拠点を牽引しつつ、とりまとめ機関として総合調整を実施。

- 「政策のための科学」を深化させるとともに、それを支える人材を育成
- 「政策のための科学」のための政策形成を担う人材を育成
- 「政策のための科学」のコミュニティ形成を牽引
- 各拠点より産出される成果を集約するとともに発出
- 拠点間の連携を牽引
- 海外関係機関との連携を牽引
- 育成する人材のキャリアパスの構築

領域開拓拠点に求められる役割

- 強みを持つ専門領域の専門性や独自性を活かし、領域開拓拠点間の補完性も考慮しつつ、「政策のための科学」を深化させるとともに、それを支える人材を育成
- 専門領域に軸をおいた独自性のある取組を進展させ、学問分野間、科学と科学技術イノベーション政策、あるいは科学と社会をつなぐ人材を育成
- 産出される成果を発出
- 「政策のための科学」のコミュニティ形成へ貢献
- 拠点間の連携や海外関係機関との連携を推進
- 育成する人材のキャリアパスの構築

3

科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」 基盤的研究・人材育成拠点を構成する大学

(参考)

総合拠点（1拠点）

- ・ 「政策のための科学」に関する博士及び修士課程のプログラムを設置し、**専門的知識及び能力を習得するための総合的なカリキュラム等を設定**
- ・ 全体の中で中心的な役割を果たし、**各拠点の具体的な連携を行う拠点間共同プログラムに関する総合調整を実施**

「政策研究大学院大学」

- ・ 社会的課題を的確に捉える能力、および科学的アプローチを用いて**科学技術イノベーション政策の企画・立案・実施・評価・改善を行う能力を有する人材を育成**
- ・ 「政策のための科学」に関する**修士課程および博士課程を設置**
- ・ **拠点間連携を主導するとともに、政策のための科学に関する学問領域の発展やコミュニティ形成を牽引**

領域開拓拠点（4拠点）

- ・ **既存のプログラムとは独立した形で、「政策のための科学」に関する人材育成プログラムを開設**
- ・ (必要に応じ)拠点間共同プログラムを提供するなど**拠点間連携を推進**

「東京大学」

- ・ **公共政策・工学を領域の軸として、政策形成や科学技術イノベーション政策研究のための人材を育成**
- ・ **既設の大学院修士課程に部局横断型プログラムを設置**

「一橋大学」

- ・ **経営学・経済学等の社会科学を基盤としつつ、自然科学や工学的知見も取り込んだ領域横断的なイノベーション研究を担う人材を育成**
- ・ **博士課程レベルのサーティフィケートコースを設置するとともに、経営学修士課程に新たなプログラムを開設**

「大阪大学(京都大学)」

- ・ **科学技術の倫理的・法的・社会的問題(ELSI)研究を領域の軸とし、学問分野間及び学問と政策・社会の間をつなぐ人材を育成**
- ・ **既設の修士課程に副専攻を設置、両大学が連携し、関西地域のニーズや特色を活かす教育研究を推進**

「九州大学」

- ・ **東アジアと地域イノベーションを領域の軸とし、専門領域と政策のための科学をつなぐ人材を育成**
- ・ **専修コース(大学院共通教育科目)を開講し、これを副専攻に発展させる。**

4

科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」 基盤的研究・人材育成拠点について

